

部品表修正の決定版 Bom Correction Macro

部品表修正マクロ

スタンダード版
Ver.1.0

Windows10/8.1/8/7 対応 Excel2007,2010,2013,2016対応

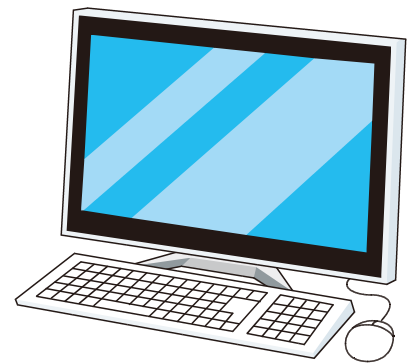
急な部品表変更にもすばやく対応！

ペースト
部品表を貼り付けるだけ

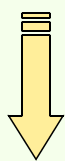
修正変換処理
最小限の操作で修正

ネットリスト読み込み
両項目のチェックが可能

スタンダード版 追加機能
Windowsで使用不可の文字置換
ネット比較時に異なる部分の色分け
ネットリスト生成可能



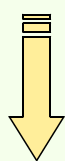
	A	B	C	D	E	F
1	型番 (BOM)	値・表記 (BOM)	REF番号	数量		←オリジナルの部品表を貼り付け(主要4項目だけ) (1行目も貼り付け可、自動で書き換えませ)
2	FM3R		FID1	1		
3	FM3S		FID2	1		
4	C2012	0.01 uC	C2,C31,C43,C45,C51,C53	10		
5			C55,C58,C65,C67			
6	C2012	0.022uC	C18	1		
7	C2012	0.1uC	C9,C10,C11,C12,C13,C14	42		全角、半角スペース、~などの一括処理
8			C15,C16,C19,C21,C22,C25			
9			C26,C29,C30,C32,C33,C34			支給BOM 文字列修正
10			C36,C37,C38,C39,C40,C41			
11			C42,C44,C46,C47,C48,C50			
12			C52,C54,C56,C57,C58,C61			
13			C62,C63,C64,C66,C68,C69			
14	R2012	0C	R17,R21,R22,R23,R29,R56	7		左記のBOMをクロスリファレンス化
15			R57			
16	R2012M	1.5kFC	R14,R37	2		XREF生成
17	AL_66D	100C/16	C4	1		
18	AL_53C	100C/6.3	C8	1		
19	R2012M	10kFC	R5,R13,R20,R24,R26,R27	10		
20			R28,R30,R35,R53			ネットリストがある場合は読み込んで比較 (対応形式はTelesis,Protel,Tangoのみ)
21	C2012	10uC	C1,C3,C6,C7,C20,C23	10		
22			C24,C35,C48,C60			比較用NET 読込 比較
23						
24						

STEP 1**部品表を貼り付ける**

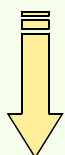
REFDES → REF 番号
Reference

Component → 型番
Footprint

Comment → 値・表記

STEP 2**文字列を修正する**

C1 ~ 4,C5,C8
↓
C1,C2,C3,C4,C5,C8

STEP 3**クロスリファレンス化**

REF 番号	型番 (BOM)
C1	C2012
C2	C2012
C3	C1608
C4	C1608
C5	C1005

STEP 4**ネットリストの読み込み**

型番 (BOM)	型番 (NET)
C2012	C2012
C2012	C2012
C1608	C1608
C1608	C1608
C1005	⇔ C1608

POINT1 項目別に貼り付け

部品表の項目名は回路図CADや会社で異なるので全体ではなく項目別に内容だけを貼り付けます。
(実際には項目名が変化しても最終的にはプログラムで書き換えてくれます。)

PDFで支給されている場合は直接ではなく、一旦Wordに貼り付けた後でペーストすると上手くいきます。

POINT2 全角の文字列を修正

全角の文字列を半角に、半角のスペースの削除、R1~R3などの省略した表記を通常の個別表記に変更します。
大規模な部品表で再度、修正されたBOMを受け取った場合に、再度修正する手作業が発生していました。
その手間が無くなり自動処理するのでミスが減ります。

スタンダード版の機能

Windowsで使用できない文字はアンダーバーに変換する。

POINT3 REF番号でXREF化

他のデータとの比較のために部品表をREF番号を基準にクロスリファレンス形式で表示します。

これは前処理で、具体的には次項のネットリストと比較することになります。

POINT4 比較ネットの読み込み

Telesis、Protel、Tango形式に対応しています。
上記フォーマットは自動で認識し読み込みます。

そのデータを部品表から作成したクロスリファレンスのそれぞれの欄の横に自動配置して比較します。
ネットリストに対応するREF番号が存在しない場合は該当する項目のセルには<None>と表示されます。

スタンダード版の機能

クロスリファレンスのシートにてオリジナルと異なる部分の背景を色分けし、更に文字も色分けします。
ネットリストも生成可能になりました。

用途

■ 基板設計会社

パターン設計時の部品表チェックに利用

部品表はフットプリントを作成する作業の基準となる型番で支給されるネットリストよりもその記載内容が最優先されます。

しかし、自動処理ではなく部分的に手修正され、記載ミスがある場合があります。

大規模な回路図にて再度、部品表を修正された場合にも短時間で対応が可能です。

ネットリストの生成

部品表からテレス形式のネットリストが生成できるので、それを接続情報と合成して新たなネットリストとして基板設計に利用可能となりました。

■ 回路設計会社

回路図の出図前の検図作業として利用

回路設計CADから出力されたものを自動処理した場合は問題はないのですが手修正すると記載ミスが発生したまま基板設計会社に提出することになってしまいます。

それを自動で見つけ修正してくれます。

仕様

Windows10/8.1/8/7 対応

Excel2007,2010,2013,2016にて動作

※ 部分的なカスタマイズにも別途に対応可能です。

- Windows、Excelは米国マイクロソフト社の登録商標です。
- 商品の仕様やデザインは予告無く変更することがあります。
- 内容は2019年1月現在のものです。

価格

販売価格： 8,000円(税抜価格)

入手形態： ダウンロード

http://www5b.biglobe.ne.jp/~sophil/UPLOAD/BCM_STD_V1.0.zip

解凍時にパスワードが必要で、振込確認後にメールでお知らせします。

事前に下記メールアドレスに(購入希望の旨で)お問い合わせください。

sophil@mug.biglobe.ne.jp

サポート： 下記メールで対応

販売

<販売元>

基板設計&企画

株式会社チェダークリーク

〒215-0022

神奈川県川崎市麻生区下麻生2-5-38

TEL: 044-387-6377

<開発元>

ソフトウェア開発

SOPHIL

問い合わせメールアドレス

sophil@mug.biglobe.ne.jp